

# My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

↓青年海外協力隊を地球柄のワゴン車で広報啓発

## ★ 湾 ボランティアでヒラメの稚魚を放流 湾内で身を守り大きく育て

加世堂湾で4月14日、同地区にある(株)浜畑組が体長10センチ、4,000尾のヒラメの稚魚を放流しました。

稚魚は、火ノ浦でヒラメの養殖をしている大和水産(有)が提供したもので、漁船で同湾まで運び浜畑組の職員らがバケツで放流しました。

放流に参加した職員らは「湾内は外敵から身を守れるのでは。今年だけでなく、子どもたちの協力を得ながら継続していきたいです」と話しました。



↑2社が協力してヒラメの稚魚を放流



## ★ 途 青年海外協力隊応募促進キャンペーン 途上国で技術を生かしませんか

青年海外協力隊応募支援キャラバン隊が4月8日、本町を表敬訪問しました。

キャラバン隊は、開発途上国で農業や医療などの技術を伝える活動を展開している青年海外協力隊への参加者を募ろうと、地球柄ワゴン車を用いて全国でPR。本町でも役場町長室を訪れ、国際貢献の大切さや隊員募集を呼びかけました。

## ★ こ 町道川床梅ノ木山線開通式 こだわりの石積み道路完成

平成16年5月から道路改良工事を進めてきた町道川床梅ノ木山線が本年3月に完成し、4月24日、開通式がありました。

幅員が狭く、急カーブが多かったこの路線は、地元住民から改良が切望されていました。この道路の改良工事は景観に配慮するため、のり面に自然石を利用して進められ、長島らしい美しい道路となりました。

式典では、川添健町長が「石積み工法を採用したことで管理の省力化が図れます。心の癒しが望まれる時代に、新しい長島を先導する役割を担ってくれるでしょう」とあいさつ。テープカットや植樹をした後、約130人が通り初めをして、開通を喜びました。

石積み工法はコンクリートブロックの6、7割程度、除草など手間が省けることで高齢化社会へ優しいなどの利点があります。



↑幼稚園児や地元住民らが参加して、真新しい道路を通り初め。

←参加者が沿道に花桃や枝垂梅、桜などを植樹。幼稚園児もスコップを抱えて土入れ。